

平成21年3月26日

## 江差線 五稜郭駅～七重浜駅間 レール破断箇所における溶接方式の訂正について

3月21日に発表しました江差線五稜郭駅～七重浜駅間におけるレール破断箇所について、その後調査を行ったところ、溶接方式に誤りがありましたのでお詫びして訂正させていただきます。

### 1. 溶接方式

(3月21日発表)  
ガス圧接方式



(訂正)  
エンクローズアーク溶接方式

エンクローズアーク溶接とは、溶接する2本のレールの開先(隙間)を一定にし、その開先部分を溶接時に水冷し、銅製の当金で囲い込み、次に母材と電極棒との間に高電流によりアーク(火花)を発生させ、この熱により溶接棒を溶融させ、これで順次開先を埋めていく工法です。

### 2. 溶接方式訂正の経緯

3月21日の夜間帯に復旧作業(レール交換)を実施し、その後、岩見沢レールセンター社員が破断面を調査したところ、エンクローズアーク溶接方式の可能性があったことから、鉄道総合技術研究所に溶接方式の判定を早急に行っていただいた結果、エンクローズアーク溶接であるとの見解を昨日いただきました。

このことにより、伸縮継目とロングレールの接合は、ガス圧接方式ではなく、エンクローズアーク溶接方式で行ったものと特定しました。

### 3. 緊急点検の対象箇所について

今回と同時期に施工したガス圧接溶接箇所の緊急点検については、3月23日早朝までに終了し、異常がないことを確認しております。

なお、今回と同時期にエンクローズアーク溶接方式により伸縮継目とロングレールを接合した箇所で現在も敷設されている2箇所については、既に点検を実施し、異常がないことを確認しています。